

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	今庄あゆっ子クラブ
-------	-----------

テーマ	わたしたちの今庄、これからの今庄
-----	------------------

メンバーの氏名	学 校 名	学 年
寺木 隆則	今庄町今庄小学校	5年
竹越 雅計	今庄町今庄小学校	5年
藤井 寛文	今庄町今庄小学校	5年
木村 香織	今庄町今庄小学校	5年
山崎 香織	今庄町今庄小学校	5年
田嶋 奈津子	今庄町今庄小学校	5年
指導者氏名	田中 範継	教 職 員

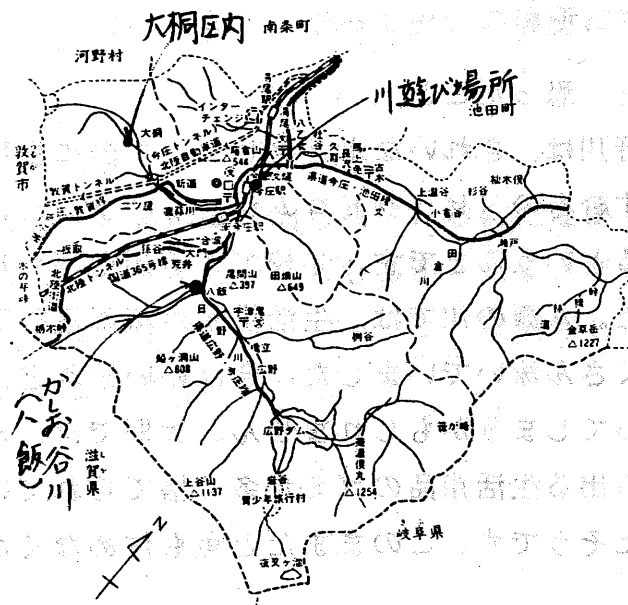
1. テーマを選んだ理由

今庄の自然を調べたり、考えたりすることで今の今庄のかんきょうはどうなるのかを知り、この自然にめぐまれた今庄を守るためにこれからわたしたち、ぼくたちがどんなことができ、どんなことをしていかなければならないのかを考えていきたいと思いました。



2. 活動の記録

大きく3つにわけて行いました。1つは、川や川の水についての調査。2つめは、山の木々やスキー場についての調査。そして、3つめは、役場での質問でした。



(1) 日野川の調査 (8月4日)

○調査方法

- ① 水の中の生物を調べる
- ② 水の様子を調べる (水温、フィルターでこす、透視度、におい、あわ、油)
- ③ ゴミを拾う
- ④ まわりの様子を見る



○考えたこと、思ったこと

今庄の日野川は、きれいな水と信じていたのに生物の中に、少し汚れたところにすむもの (ヒラタドロムシ) もいました。ということは、水が汚れているということです。学校でする川遊びも川にはいるのがいやになりました。八飯の川では、生活排水が流れ込む下に泡が多くて、そこに魚がたくさん泳いでいました。今はいいけれど、これから先、魚も住めなくなってしまうかもしれません。大桐では、水はきれいだったけれど、家から出る生活用品のゴミが多く捨てられていました。昔は、もっと魚もいたそうです。このままだと魚も住めなくなるかもしれません。

(1) 山の調査 [とちの木峠と木の芽峠とその間の林道(8月24日)そして一ノ瀬山荘と芋ヶ平に行って様子を観察してきました。]

①とちの木峠

ぐねぐねの道を登り、峠に着くと大きなとちの木がありました。この木は、町の天然記念物に指定されていて、今たくさんの実をつけていました。後ろを見ると滋賀県の余ごスキー場が目の前にありました。そこから林道を通って木の芽峠に向かいました。林道は、切り開いたがけの所に草を植えたり、木を植えたりしてありました。石を積んである所もありました。

②木の芽峠

ここには、昔からある一軒の家が残っていて、きれいに整備されていました。大変静かな所で、近くの言うな地蔵までの細い道は旧北陸道で、昔ここを馬が行き来したのかと思うと本当に不思議に思えました。この峠には、一昨年「365スキー場」ができました。出来る前は、一面木々におおわれた所でしたが、今では木は切られて山は削られ、土がむき出しになっていました。冬、スキーをする時は、雪におおわれて全くわからなかったのに、夏にこうして見るとこんなに緑がなくなっていることにおどろかされました。

③一ノ瀬山荘と芋ヶ平

一ノ瀬山荘は、山の中にある遊び場でリングゴルフなど山の自然を生かして、いろいろな工夫がしてある所です。また芋ヶ平はきれいに整備されて、サイクリングの目的地などになって憩いの場所になっていました。

○考えたこと、思ったこと

スキー場が出来て、ずいぶん山が削られているんだなあと感じました。林道も造られてがけになっているところも多かったようです。でも、反対に山の自然を生かして、レクリエーションなどに利用しているところもあって工夫しているなあと思いました。

(3) 今庄役場に行って質問

こうして調査して見るといろいろな疑問がわいてきました。そこで、役場に行って係の人に聞いて見ることにしました。建設課の赤沢さん、商工観光課の窪田さん、住民課の津田さんをたずねました。

1. Q 日野川の水は、昔に比べて減りましたか？増えましたか？

A ダムで調整しているので、水は増えています。

2. Q この前、水の中の生き物をさがしていたら、ヒラタドロムシという少しよごれたところにすむ虫がいたんですけど、そんなに汚れているんですか？

A 生活排水が流れ込んだり、川へゴミを捨てる人がいるので、少し汚れています。

3. Q 家からでた汚い水は、どこでどう処理しているのですか？

A 下水道は、「八おとめ区」と「やしろ谷区」でしかやっていません。あとの地区は、直接、川に流れ込んでいます。学校は、学校で処理しています。

4. Q 石が、かなあみで、かこまれているのは、なぜですか？

A らく石防止です。あとは、土がくずれるのを防ぐためです。

5. Q 山の木を切ってスキー場を作ったり、林道を作ったけど、このあと緑がなくなる心配は、ないんですか？

A 「植生シート」を使っています。中に草木の種が入っていて、けずったところにしいていきます。そうすると芽がでて緑になっていきます。そうすると、土も流れないし川の水も汚れません。

6. Q 今庄の天然記念物は、とちの木峠ととちの木とあとは何があるんですか？

A とちの木は、町の木で、町の花がしゃくなげです。

7. Q スキー場が出来てから、ゴミ拾いをしたら、空き缶やたばこのすいがらが落ちていたんですけど、スキー場が出来る前より、増えてきているんですか？

A スキー場が出来て、お客さんが増えています。春から秋にかけては、そば道場や夜しゃが池、木の芽峠に町外からたくさんの人がやってきます。そういった中で、車からのポイ捨てが多くなっていますね。一人一人の人が、守ってもらわないとどうにもなりませんね。ポスターや看板で何とか伝えようとしています。

8. Q 今庄の山には、どんな動物が住んでいますか？動物は減りましたか？

A 昔はクマとかカモシカとか、いのししなどの大型の動物がたくさんいましたが、今はへってきていますね。というのは、山の木々を切って、すぎの木を植えています、食べ物となる木が少なくなっているからです。

9. Q 今庄のゴミはどこでどう処理しているのですか？

A 燃えるゴミなどは、武生の家久にもっていきます。燃えないゴミは、白山にもっていきます。粗大ゴミは、石川県まで運びます。今度、見学に行くといいですよ。

10. Q 今庄町ではどんなリサイクルをしているのですか？

A 今庄町は、分別収集をしています。それがリサイクルにつながります。今庄町のゴミの出し方は、とてもきれいなのだそうです。

11. Q 今庄町では、かんきょうを守るためにどんなことをしているんですか？

A1 今庄町の93%が山林ですが、山の木をなるべく切らないようにしています。自然をそのまま残したいですからね。大雨になっても山林が洪水から守ってくれるのです。

A2 下水道をつくったり、ゴミを集めてリサイクルにいかしたりすることも、かんきょうを守ることに役立っていると思います。

A3 スキー場をつくるのにも、自然を守るために、細かいきまりや規則があって大変注意をはらっています。

○考えたこと・思ったこと

観察などをしていて不思議に思ったことや、疑問に思ったことがほと

んどわかってしまいました。私たちが質問したことだけでなく、そのほかにもいろいろなことについて、わかりやすく話してくださいました。質問したことで、新しくわかったこともたくさんあって本当によかったと思います。

役場のみなさんありがとうございました。

○調査を終えて

3つの調査を終えて、一番心に残っていることは、ここ今庄でも自然が少しずつこわされているということでした。わたしは、いつも「今庄には、自然がいっぱいで山は緑におおわれ、川の水はすんできれい、空気もおいしい」と思い込んでいたのに、こういった自然環境が、今、少しずつこの今庄でもはかいされるのだということに、はじめて気づきました。

でも、このことは、スキー場やダムをつくるために起こるのです。しかし、スキー場は今庄町を活性化するためにつくられたもので、実際にスキー場ができたおかげでたくさんの人が、今庄町に集まってきています。わたしたちも、スキー場ができたおかげで、冬も楽しく過ごせます。ダムは生活や産業をささえていくために、大切な水源として、欠かすことはできません。そのために、役場の人は開発しながら自然を守ることには大変な努力と工夫をしていました。わたしたちの知らないところで多くのかんきょうを守る仕事があったのです。

その一方で、ゴミ問題もありました。特に、ポイ捨てです。以前、今庄小学校児童会で国道沿いのゴミ拾いをしましたが、その時、多かったのが、空き缶とタバコの吸いがらでした。きっと車からや歩きながら捨てたものが多いのでしょう。このことは、町民だけでなく人間一人一人が考えなければならないことだと思います。ジュニアパトロール隊はこういう点について、これから呼びかけなければならないと思いました。

このことから、パトロール隊が今庄町の環境を守るために考えたことは、次のとおりです。

- ① ゴミ拾いをする
- ② ゴミを捨てないようによびかける
- ③ 家から汚れた水を流さない

④ リサイクルに参加してゴミを出さないようにする

3. メンバーの感想

(木村 香織)

今庄の川、山などを調べてとても楽しかったし、今庄のことがよくわかった。役場へ質問しに行った時、とても恥ずかしかったけど、大切なことが聞けて、学校の授業とはちょっとちがうものが頭の中に入ったので、少しは頭がよくなったかも…。

(山崎 香織)

ジュニアかんきょうパトロールをして、川や山でとても楽しかった。それに1人じゃなくて6人の力を合わせてがんばったので、とても楽しく勉強ができた。とても楽しいパトロールになってよかった。

(田島 奈津子)

今庄の川、山などを調べてとても楽しかったしいろんなことがわかった。私が知らなかった今庄の自然が少しでもわかったし、役場での質問もとても緊張したけど、いい勉強になった。パトロールも半分遊びみたいで、とても楽しかった。

(竹越 雅計)

今庄の山や川などを調べて、とても勉強になった。ぼくは、これで今庄に自然のことがよくわかってきて、今庄の環境のことがよく勉強になって楽しかった。

(藤井 寛文)

これをして、今庄の山や川のことにつて、くわしくわかった。ぼくは、今庄が自然がいっぱいある町だと思っていたけど、いっぱい自然が減っていることがわかった。もっと自然を大切にしようと思った。

(寺木 隆則)

ぼくたちの行った山や川はきれいだった。だけど、日野川にはヒラタドロムシというきたない川に住む虫がいた。ほかに、かしお谷川は、配水管の下のあわの下の魚がいっぱいいる。

最後の川のかひる川には、ガラスのはへんやビンが落ちていた。山の所には、スキー場があり、その国道365号線が汚れていた。

林道には、がけがたくさんあった。ぼくは、これでも今庄の川や山の

ことが少し頭に入ったかなあと思いました。

4. 指導者の感想.

自分たちの住んでいるところは、自然環境に恵まれて、環境問題など関係がないと考えていた子供たちが、今庄を調査し、見直すことで自分たちの所でも環境問題があり自然破壊が進んでいることを発見してくれた。また、破壊も単なる木が必要というだけでなく開発とのからみがあり、大人たちも懸命に環境保護に努めていることも知ったようだ。さらに、これからどうしたらいいだろうという考え方にもおよび、将来のメンバーに大いに期待している。

